

Vol.32

2010.1
January

京都

ケアマネ・ポート

KYOTO CARE MANE PORT

Contents

- 2 新年のご挨拶
- 3 特集 ベテランケアマネさんへ一問一答
- 4 トピックス 実地指導報告
- 5 平成21年度 京都府介護支援専門員会活動報告
- 7 お知らせ
- 8 編集後記



会 長
上 原 春 男

新年のご挨拶

京都府介護支援専門員会の会員の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は政権交代があり民主党政権が発足いたしました。介護保険に対する新政府の方針も明確にならないまま年明けをむかえることとなりました。新政権に対しては、変革への期待より不安の方が強くなりつつある中、介護保険制度により、高齢者が安心して生活ができる社会の構築と、介護事業に従事する人々にとって魅力ある介護現場となるよう、介護支援専門員としての立場から新政権に提言していかなければなりません。

また、介護支援専門員という職種もその存在が国民に広く認知されるにつれ、その責任は年々重くなり、仕事量も増える一方です。介護保険制度発足10年の節目を迎える本年、国に対し介護支援専門員の仕事量、負わされている責任等に似合うだけの報酬や社会的地位を要求していかなければならないと考えております。さらに本会ではこれまで、京都府、京都市と介護保険に関する種々の交渉を行ってまいりましたが、今後も種々の問題に関し交渉していかなければなりません。この発言力を左右する組織力の向上が必要となる訳ですが、このためには会員数の増加に努めなければなりません。多くの会員の皆様からご指摘を受けている、目に見える会員としてのメリットについてもお示しできるよう取り組んでまいりたいと思いますので会員の増加にご協力いただきますようお願いいたします。

これまで行ってまいりました研修会の開催、情報の交換の提供、相談事業等は本年度も同様に開催をして少しでも会員のスキルアップや、悩みに答える機会を設けたいと思っております。

本年2月20、21日には、第4回日本介護専門員協会全国大会 in 京都・第9回近畿介護支援専門員京都大会が本会の主催で開催されます。多くの会員の皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

本年が会員の皆様方にとってより良い、より発展的な年となりますことを祈念しまして新年のご挨拶とさせていただきます。



第4回
日本介護支援専門員協会
全国大会in京都

第9回
近畿介護支援専門員研究大会
京都大会 実行委員長

松本善則

ごあいさつ

皆様、あけましておめでとうございます。

いよいよ第4回日本介護支援専門員協会全国大会 in 京都・第9回近畿介護支援専門員研究大会 京都大会開催まで一月余りとなりました。昨春よりの準備開始でしたが、今年度は報酬改定で幕が開け、その混乱も納まらないうちの新型インフルエンザ騒動と実務でも何かと騒がしくあつという間に今日を迎えています。

今大会は介護保険施行から10年の節目を迎えるにあたり、介護支援専門員としての10年間がその専門性をどの様に高めて来たのか？ また、その専門性とは何であるのかをテーマの軸に置く事で、例えば国家資格や業務（名称）独占のような今後の職としての地位確立や、その専門性確立についてを皆様と共に改めて考える機会になればと考えています。また、分科会では今報酬改定の中で加わることとなった様々な加算を専門性の分野として捉まえ、その中身を掘り下げることが出来ればと期待しています。皆様方におかれましては是非ともこういった視点で大会にご参加頂きますようお願い申し上げます。

実行委員自体が初めての経験の中、大会委員長の大役まで仰せ付けいただきました。何事も初めての事ばかりで「何から手を付ければよいのやら」と言った状態でしたが、諸先輩の皆様にご助けられ何とか此処までたどり着けました。ここ一ヶ月が追い込み、正念場になることと思いますが、此処まで無事準備が進みましたが皆様のおかげと心より感謝しております。お礼の気持ちを込めまして御挨拶に代えさせていただきます。

特集

ベテランケアマネさんへ一問一答

皆様初めまして、私達、実務経験2年未満の新人ケアマネですがこの度より編集委員としてケアマネポートの編集に参加します。今回は新人の目線での企画をさせて頂きました。

今回は実務経験3年未満のケアマネさんを限定に「先輩ケアマネさんに聞きたい、こんな事あんな事」というテーマでアンケートご協力頂き、主任ケアマネさんを中心とした経験豊富なケアマネさんに一問一答をお願いしました。たとえば…

Q. ケアマネとして一番必要なスキルはなんでしょう？

- A.**
- ① 仕事に対する情熱。一人よがりではなく、人の気持ちを考え続けること。
 - ② 調整能力。
 - ③ 「対人援助の専門職としての価値観」
 - ④ 信頼できる仲間を持ち人に支えてもらえるようになる。
 - ⑤ 初期相談では情報収集力、状況判断力。その後はネットワークの広さや構築力になるでしょう。
 - ⑥ 常に相談者との距離を保ち、イメージしながら向き合う力を養うと自分自身の動きが楽になります。

この他にもたくさんの質問をお寄せ頂きました…ケア

マネを長く続けていく秘訣はなんですか？ 突発的な出来事が多くなかなか予定どおりに業務がこなせません。スケジュール管理の方法があれば教えてください。ストレスの発散方法やストレスをためないコツはないですか？ 新人ケアマネにお勧めの本は？ 将来的にケアマネの仕事で家庭を養っていくためにはどのような働きが求められるのでしょうか？ インフォーマルなサポートと上手く連携したりケアプランに取り入れる良い方法はないのでしょうか？ 等々…詳細は京都府介護支援専門員協

会のホームページ→メンバーページ→最新情報に掲載しております。ベテランのケアマネの皆様も「新人はこんなことで悩んでいる、困っている」と言った目でご覧頂ければ幸いです、今回のアンケートにご協力を頂きました新人ケアマネさんとベテランケアマネさんに感謝いたします。ありがとうございました。

亀岡あゆみ居宅介護支援事業所 西村 篤（編集委員）
ムツミ老人介護支援センター 秋風 伯尚（編集委員）

Topics

実地指導報告

先日、会員の所属する事業所に対する実地指導に於いて以下のような指導がありました。

○概要：

ちょうど更新認定の際一時的に入院をされていたこともあり、サービス担当者会議を開催する時間が取れず、サービス提供事業者のうち5ヶ所に文書による照会を行った。結果4ヶ所からは文書による意見が戻ってきていたが、1ヶ所からの返事がなく、意見についての確認した記録もないため、「運営基準を満たしていないため減算となる」との指導がありました。当該事業所は特定事業所加算を算定していたため、すべての利用者についての当該加算も返納となりました。

○指導内容：

少なくとも全ての事業者から文書による照会を一律に行うことは想定し難く、日程調整の上、どこかの事業所がサービス担当者会議に参加した上で、参加できない事業所へ照会を行うのが最低の条件である。今回はやむを得ない事情で照会を行ったところだが、今回は照会を行った事業所のうちの1カ所からの返事が無く、経過記録の中にも当該事業所とのやりとりについての記載が一切無いことが指導の対象となった模様。

指導の根拠は以下のとおりです。（平成21年度府集団指導資料P.447より抜粋）

10. 指定居宅介護支援の具体的取扱方針(9)において介護支援専門員は、サービス担当者会議の開催により、利用者の状況等に関する情報を担当者と共有するとともに、当該居宅サービス計画の原案の内容について、担当者から、専門的な見地からの意見を求めているか。ただし、やむを得ない理由がある場合については、担当者に対する照会等により意見を求めることができる。
- ◎やむを得ない理由がある場合については、サービス担当者に対する照会等により意見を求めることができるものとしているが、この場合にも、緊密に相互の情報交換を行うことにより、利用者の状況等についての情報や居宅サービス計画原案の内容を共有できるようにする必要がある。なお、やむを得ない理由がある場合は、開催の日程調整を行ったが、サービス担当者の事由により、サービス担当者会議への参加が得られなかった場合、居宅サービス計画の変更であって、利用者の状態に大きな変化が見られない等における軽微な変更の場合等が想定される。

担当者会議についてはその招集に皆様も翻弄されていると思います。上記趣旨を改めて確認頂き、皆様におかれましても同様の指導がされることの無い様、例え口頭でのやりとりのみであっても経過に記録する等の充分なご配慮をお願いいたします。

平成21年度

京都府介護支援専門員活動報告

総 会

	日 時	場 所	内 容
第 1 回	平成21年 6 月20日	京都テルサ	事業報告・日本協会代議員選出等

理 事 会

	日 時	場 所	内 容
第 1 回	平成21年 4 月22日	京都社会福祉会館	役員体制・近畿大会等
第 2 回	平成21年 5 月27日	ハートピア京都	総会・府民公開講座等
第 3 回	平成21年 6 月20日	京都テルサ	主任研修・近畿大会等
第 4 回	平成21年 7 月22日	ハートピア京都	医療推進協議会・各報告等
第 5 回	平成21年 8 月26日	ハートピア京都	近畿プレ大会等
第 6 回	平成21年 9 月30日	ハートピア京都	ブロック別会員懇談会等
第 7 回	平成21年10月28日	ハートピア京都	各種アンケート等
第 8 回	平成21年11月25日	ハートピア京都	受託事業・各報告等

各理事会の詳しい内容は、当会ホームページに掲載してあります。

事会各部会・委員会

○総務部会

①編集委員会

- ・ケアマネポート30・31・32号発行
- ・ホームページ充実化中

②倫理委員会

- ・諸規程作成（次期総会にて報告）

○研修部会

①受託研修委員会

- ・平成21年度介護支援専門員更新研修（課程Ⅱ）
平成21年 5 月22日～平成21年12月15日開催
- ・平成21年度主任介護支援専門員研修
第 1 回 平成21年 7 月17日～平成21年 9 月 9 日開催
第 2 回 平成22年 1 月19日～平成22年 3 月18日開催
予定（受講者決定済み）
- ・平成21年度京都市ケアプラン研修（居宅・施設・介護予防）

居 宅 第 1 回 平成21年10月21日

第 2 回 平成21年11月10日

施 設 平成21年10月27日

予 防 全 5 回 平成21年 9 月28日

～平成21年11月30日

- ・平成21年度介護支援専門員更新研修(実務未経験者)へ講師派遣

- ・平成21年度介護支援専門員実務研修へ講師派遣予定

②訪問査委員会

- ・京都市における新規または、区分変更の認定調査件数
4～10月 2,503件

- ・当会登録認定調査員研修会

平成22年 1 月22日開催予定

○調査・研究部会

①公益事業委員会

- ・平成21年度府民公開講座
内 容：認知症の理解と地域づくり
講 師：長谷川和夫氏
平成21年6月20日開催

②会員登録委員会

- ・行政との懇談会
京都府との懇談会 平成21年5月13日開催
京都市との懇談会 平成21年6月17日開催
- ・国会議員との懇談会
民主党国会議員との懇談会 平成21年7月19日開催
自民党国会議員との懇談会 平成21年8月2日開催

③調査・研究委員会

- ・老老介護世帯に関するアンケート 京都市内148件
回答
平成21年8月24日～平成21年9月7日
- ・主任介護支援専門員の現況に関するアンケート
12月実施
上記の各アンケート結果は集計後に会員の皆様に

公表させていただきます。

○地域連携部会

①ブロック活動支援委員会

- ・各ブロック委員・会員との懇談会
京都府内ブロック委員との懇談会
平成21年6月13日開催
北部地域会員との懇談会
平成21年11月7日開催
南部地域会員との懇談会
平成22年1月23日開催予定

②地域包括支援センター連携委員会

- ・地域包括支援センター運営協議会委員との懇談会
平成21年11月20日開催

③施設等支援委員会

- ・施設ケアマネジャーの実態調査に関するアンケート
(調査・研究委員会合同) 1月実施予定
日本協会・近畿大会部会

日本協会関係

- ・京都府より日本協会常任理事 1名派遣
- ・京都府より日本協会代議員 4名派遣
- *近畿大会事務局

- ・第9回近畿介護支援専門員研究大会 in 京都プレ大会
内容：「事例研究とは」 講師：福富 昌城氏
平成21年9月19日開催

京都府・京都市等の各種審議会・委員会等への委員推薦

委 員 会 名
京都府高齢者サービス総合調整推進会議 (京都府高齢者保健福祉計画等検討委員会)
京都府地域ケアあり方検討会議
京都府地域リハビリテーション連携推進会議
京都府介護・福祉サービス第三者評価等支援機構
グループホーム外部評価調査員
京都市長寿すこやかセンター運営委員会
京都市長寿すこやかプラン推進協議会
「きょうと介護 福祉ジョブネット」 ワーキンググループ 座長
京都市高齢者・障害者権利擁護ネットワーク連絡会議
京都市社会福祉協議会苦情解決第三者委員会
京都市社協・洛西ふれあいの里保養研修センター 介護機器普及事業運営協議会
京都市社協・洛西ふれあいの里保養研修センター 社会福祉研修事業運営協議会

委 員 会 名
京都市ユニバーサルデザイン審議会委員
京丹後市高齢者虐待防止ネットワーク会議委員
京都府医療推進協議会
京都市介護認定審査会委員 北区・右京区・中京区・ 下京区・左京区2名
地域包括支援センター運営協議会構成員 京都市各区・支所・亀岡市
「西京区認知症地域ケア協議会」世話人会議世話人
社会福祉サービス協会評議員
京都府医師会地域ケア委員会委員
医療と介護・福祉サービス連携協議会
「物忘れ外来」専門医による地域のかかりつけ医、 ケアマネジャーとの連携体制の構築に関する調査研究 事業研究会委員
日本介護支援専門員協会認知症対応型共同生活介護部 会委員

Information

社団法人 京都府介護支援専門員会よりの お知らせ

【平成21年度第2回総会通常総会について】

平成21年度第2回通常総会を下記にて開催を予定しています。詳細は後日改めてご案内いたします。

日 時：平成22年3月20日（土）

場 所：ハートピア京都（京都市営地下鉄烏丸線 丸太町駅下車）

【第4回日本介護支援専門員協会全国大会 in 京都 第9回近畿介護支援専門員研究大会 京都大会のご案内】

冒頭の挨拶でも述べましたが第4回日本介護支援専門員協会全国大会in京都・第9回近畿介護支援専門員研究大会 京都大会が来月開催されます。この開催に併せ「京都・小規模多機能めぐり～京都の小規模は今～」と題しオプションでのエクスカージョンを企画いたしました。数ヶ所の小規模多機能型居宅介護事業所を見学し、その後、見学した内容を基にしたディスカッションとおし、全員で改めて小規模多機能型居宅介護事業所のあるべき姿・求められていること・担う役割等について考えると言う趣旨です。詳細は当会ホームページをご覧ください。

【介護支援専門員証の有効期間更新手続きについて】

有効期間満了日まで1年未満の方で更新研修を受講済みのかたは、介護支援専門員証の有効期間満了日までに更新交付申請を京都府健康福祉部高齢者支援課介護計画・管理担当へ行ってください。（詳細別紙参照）

※ 別紙・申請書を使用してください。

※※ 更新研修を修了しただけでは、更新されません。必ず更新交付申請の手続きが必要ですので、ご注意ください。

【『平成21年度会費について』…請求額が変わります】

平成21年度の会費につきましては、日本介護支援専門員協会年会費の変更に伴い皆様への請求額に変更があります。金額等につきまして再度ご案内を差し上げる予定をしております。ご納入は案内をご覧になってからお願いいたします。

【要介護認定調査員の募集について】

これまでより「京都市要介護認定調査員」を募集しているところですが、委託件数が激増し調査員が不足しています。当会役員による研修等を通し未経験者の方でも訪問調査を行って頂けるまで御指導します。是非ご応募ください。

詳細は別紙をご覧の上、事務局調査担当係 TEL.075-254-3969 までお問合せ下さい。

【研修等のお知らせについて】

- 平成21年第2回度京都府主任介護支援専門員研修 平成22年1月19日～3月18日
 - 平成21年度介護支援専門員実務研修（京都府社会福祉協議会） 平成22年1月10日～3月14日
- 日程等の詳細については当会ホームページ トップページ→メンバーページ→研修会情報 をご覧ください。

編 集 後 記

昨年もまた激動の一年でした。介護保険制度改定もされ、要介護認定の方法も見直しがされるという異例の事態もありました。厳しい締め付けの中、情熱を持ち仕事を続けることは容易なことではありません。人の命の輝きは尊く、かけがえのない人生であり、無駄な命など無いとの実感なくしては対人援助の醍醐味は味わえないことでしょう。

今年の近畿大会のテーマの『あなたは自分の立ち位置が見えていますか?』はまさに今、介護支援専門員が見失ってはいけないエッセンスではないでしょうか。どんなに多忙でも自分の役割を振り返る時間を持たずして、気づきを活かせるチャンスを得ることはできないと感じています。

今回近畿大会のオプションとして「小規模多機能型居宅介護」施設の見学を企画させて頂きました。平成18年4月から制度化されました地域密着サービスの一つである「小規模多機能型居宅介護」は、在宅でありながら施設機能を含み、介護支援専門員としての視点はあたりまえの生活をマルチに捉えなくてはなりません。居宅支援事業所から移動した時は孤立感や閉塞感が押し寄せました。訪問調査ができないこと、サービスが限定されていること、昨年の制度改定の中、加算がついた事により、ご利用者様の負担やサービスの選択肢がより狭くなった時の憤りが押し寄せました。しかし、信頼するチームで支援することでダイレクトに高齢者の方が変化して行く様子を目のあたりにして、感動が突き動かす日々についている自分を発見しました。どんなアセスメントが必要であり、そのアセスメントをどう生かすか、モニタリングの結果をどう次のステップに繋げていくのか、365日・24時間の支援者としての関わりや心構えを学び続ける毎日です。

昨年12月、介護福祉施設をはじめ、介護老人保健施設や地域密着サービスのグループホーム等の職場で働く介護支援専門員に対してアンケートを実施させて頂きました。今年はアンケートの結果を活かし、必要な研修や語り場等の支援を介護支援専門員会として発信できるようにと計画しています。地域包括支援センター・居宅の介護支援専門員とはまた違う「新しい環境」の中で、それぞれ頑張る仲間たちにもエールを送りたいと思っています。

共に悩みを語り学び合える環境をより充実させていくために力を合わせていきましょう。

(編集委員会 上田 充子)

京都ケアマネポート32号

2010年1月1日発行

発行人 上原 春男

編集委員長 松本 善則

発行元 社団法人 京都府介護支援専門員会

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375 京都府立総合社会福祉会館7階

TEL. 075-254-3970 FAX. 075-254-3971

E-mail: kyotocaremane@wine.ocn.ne.jp